

コード	I-1-1	施策名	生涯を通じた健康な生活習慣の推進
まちづくりの目標	生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉)	施策の方針	健康寿命を延伸する
5年後のめざす姿	次世代を含めたすべての人が健やかな生活習慣を身につけることが健康寿命を延ばすことにつながるため、子どものころから、健康づくりの基礎となる基本的な生活習慣や食習慣・運動習慣を身につけることができるような取組を行います。健診を受けやすい体制を整え、健診受診の大切さを伝えることで受診率の向上をめざすとともに、健診の結果を生活習慣の改善にいかし生活習慣病の発症や重症化予防につながる支援を行います。 すべて人がいきいきと自分らしく、生きがいや希望を持って暮らすことができるよう、休養の大切さやこころの健康に関する知識の啓発等に取り組めます。		
施策の課題	・健康寿命延伸のための現状把握と課題分析を行い、課題に応じた対策を実施する必要があります。特に、生活習慣病の発症予防のため、若い頃から健診を受け、健診の結果から生活習慣の改善に取り組めるよう全ての世代に対し健診の受診勧奨とその後の保健指導を実施するとともに、子どもの頃から健康づくりの基礎となる基本的な生活習慣や運動習慣を身につけることができるよう、健康づくりに関する正しい情報の普及啓発に努める必要があります。		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画>

新規指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
お達者年齢	大分県福祉保健企画課が公表している白杵市の健康寿命(お達者年齢)	目標	歳	男性79.49 女性84.45	男性79.73 女性84.58	男性79.96 女性84.71	男性80.21 女性84.85	男性80.45 女性85.00		
		実績		男性79.05 女性86.23	男性79.26 女性84.32	男性79.93 女性84.19	男性79.91 女性84.76	男性80.25 女性84.71		
		達成率	%	男性98% 女性100%	男性99.5% 女性99.5%	男性99.9% 女性100.1%	男性100.1% 女性99.8%			
脳血管疾患の標準化死亡率の減少	脳血管疾患における死亡率の全国平均を100(基準値)として算出	目標	(数値)	男性115.3 女性132.1	男性111.6 女性127.3	男性107.8 女性122.5	男性104 女性117.7	男性100.0 女性113.2		
		実績		男性119.1 女性136.9	男性119.7 女性136.9	男性121.0 女性130.0	男性119.7 女性134.1	男性132.9 女性128.5		
		達成率	ポイント	男性+4.4 女性+4.8	男性+9.4 女性+2.7	男性+11.9 女性+11.6	男性+28.9 女性+10.8			
メタボリックシンドローム該当者の割合	国保特定健診受診者のメタボリックシンドローム該当者割合	目標	%	男性28% 女性10.7%	男性26.1% 女性10.7%	男性24.2% 女性10%	男性22.3% 女性9.2%	男性20.35% 女性8.4%		
		実績		男性29.8% 女性12.2%	男性31.3% 女性11.8%	男性31.0% 女性11.6%	男性31.1% 女性11.6%	男性30.8% 女性11.6%		
		達成率	%	男性95.4% 女性99.7%	男性93.4% 女性99.5%	男性90.8% 女性98.2%	男性89.1% 女性97.4%			
3歳児の虫歯がない者の割合	3歳児健診実績	目標	%		80.0	80.0	80.0	80	85.0	
		実績		82.7	75.3	75.3	83.3	84.6		
		達成率	%		94.1%	94.1%	104.2%	105.8%		
睡眠で休養が十分取れている者の割合	国保特定健診受診者のうち、睡眠で休養が十分取れていると答えた人の割合	目標	%		75.0	76.3	77.5	78.8	80.0	
		実績		73.8	74.9	75.5	75.8	75.6		
		達成率	%		99.9%	98.9%	97.8%	95.9%		
指標の進捗状況	概ね順調	指標の分析		脳血管疾患の標準化死亡率やメタボリックシンドローム該当者の割合は、男女別でみると女性が改善傾向であるのに対し、男性は改善が困難です。発症予防、重症化予防に向けた取組が必要です。3歳児健診の虫歯のない子どもの割合は、目標である80%を超える実績となっています。目標値を見直すとともに、引き続き虫歯予防に関する普及啓発を実施していきます。						
		指標達成に向け今後の流れ		生活習慣病は、自覚症状がないため、まずは健診の機会を提供し、自分の健康状態を正しく知ることで生活習慣の改善を図り、お達者年齢の延伸やメタボリックシンドローム該当者の減少をめざします。そのため、特定健診等の受診勧奨を強化充実するとともに、健診受診者の個別保健指導の充実を図ります。						

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	浸透度
見直し領域	2.53	2.18	86.04%
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域			
過去の調査結果(領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	向上領域	見直し領域	向上領域

満足度

2.30

2.20

2.10

2.00

1.90

1.80

1.70

全体平均

必要度

2.30

2.40

2.50

2.60

2.70

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1	乳幼児等健康診査	子ども子育て課	18,137	21,012	無	—	—	—	
2	乳幼児等訪問事業	子ども子育て課	191	120	無	—	—	—	
3	予防接種事業	子ども子育て課	78,337	79,587	有	おおむね順調	強化	中	
4	がん検診事業	保険健康課	39,003	37,150	有	おおむね順調	強化	大	○
5	脳心血管病重症化予防事業	保険健康課	3,429	3,360	無	—	—	—	
6	特定健診特定保健指導事業	保険健康課	31,375	56,909	無	—	—	—	
7	食育推進事業	保険健康課	38	249	無	—	—	—	
8	子ども医療費助成事業	子ども子育て課	98,049	128,646	有	順調	向上	大	○
9	健康マイレージ事業	保険健康課	1,477	1,543	無	—	—	—	
10									
合計			270,036	328,576	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

健康寿命(到達者年齢)は延伸傾向にありますが、脳血管疾患の標準化死亡比やメタボリックシンドローム該当者は男女別で見ると女性が改善傾向であるのに対し、男性の数値は改善がみられない状況にあり、引き続き生活習慣病の発症予防や重症化予防の継続した取組みが重要です。まずは、特定健診者数を増やし、自分の健康状態を正しく理解し、生活習慣病の予防に努めらるよう働きかけることが必要です。また、生活習慣病の予防には子どもの頃から生涯を通じた対策が大切であるため、子ども子育て課、教育委員会と連携を図りながら、個別指導やポピュレーションアプローチに取り組む必要があります。

施策の評価 (今後の施策の方向性)

評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する ○ 強化 .. 現状より強化を図る
 ○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る ○ 検討 .. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>...評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	特定健診受診者のメタボ該当者の増加や、小中学生の肥満出現率が高い状況があることから、すべての世代において健やかな生活習慣を身に着けるための個別保健指導や正しい情報の周知啓発が必要です。今後は、特定健診の受診率向上に努めるとともに、子どもの頃からの生活習慣病予防対策に取り組んでまいります。